

白衣姿で顕微鏡をのぞき、気分は臨床検査技師



そつと優しく…。新生児モデルを使った赤ちゃん抱っこに挑戦



脚力選手権「頑張った」



本年度第1回オープンキャンパス

本年度の第1回オープンキャンパスが16日（日）行われ、将来の医療人を夢見る高校生やその家族ら計849人が各学科・専攻による模擬実習や学内見学ツアーなどを通じて、本学の魅力に触れました。参加者は、新型コロナ禍のため人数制限した昨年度の第1回を200人上回り、コロナ以前と同程度になりました。

この日は、午前10時の全体説明でスタート。1～3号館、図書館、アリーナには各学科・専攻が趣向を凝らした学科紹介、模擬実習、各種相談などの各コーナーが設けられ、学生や教職員が入れ代わり立ち代わり訪れる生徒たちを笑顔で迎えていました。

このうち、3号館に開設された「先輩と話してみよう」と銘打ったコーナーは、毎回のオープンキャンパスで人気のコーナー。来訪者も絶えず、「どんな授業があるんですか」「受験勉強のやり方を教えてください」といった問いに、ピアサポーターの学生たちが丁寧に答えていました。また、学内見学ツアーも午前と午後の計2回催され、参加者は教職員の説明を受けながら、レストランや図書館などの学内施設を興味深げに見て回りました。

本学のリハビリテーション学科が第1志望という熊本市内の女子生徒（3年）は「作業療法士と理学療法士のどちらに進むか迷っています。今日は両方の専攻についてじっくりと見ることができ参考になりました」と満足そう。臨床検査技師を目指す宮崎県延岡市の女子生徒（3年）は、この日が2校目のオープンキャンパス見学。「夏休み中にいくつかの大学を回るつもりですが、この大学はとても親しみやすいと思いました」と、話していました。

本年度のオープンキャンパスは、8月20日と9月3日にも開催されます。（NL編集部）

熊保大の魅力見て触れて

バランスとるの難しい。「ボール落とさないで」



子どもの領域での言語聴覚士の仕事に興味津々



ピアサポーターの先輩学生（左）に熱心に質問



溢れるアイデアを寸劇、動画に

——「アカデミックスキルⅠ」発表会

「小学生に体の一部を説明しよう」をテーマにした1年次生の必修科目「アカデミックスキルⅠ」のプレゼンテーション発表会が7月第1週から第2週にかけ、50周年記念館でありました。学科・専攻ごとに計7回実施。6分間の持ち時間の中で、基本5人編成の各班が寸劇、動画、紙芝居などを通じたアイデア溢れる発表を行い、会場を沸かせました。

難しい専門用語を避けて小学生にわかりやすく伝えることで、自分たちの理解を深めるのが狙い。13日（木）に行われた看護学科の第1回発表会では、「口の中のデンタルソルジャー」、「バランスはどこでとる？その答えは・・・?」、「消化の謎？お腹の声を聞いてみよう!」といったユニークなタイトルが目白押し。凝った小道具や衣装も次々と登場しました。

人ののどがどのようにして異物をブロックしているかということを発表した松本彩那さん、松本愛美さん、益田日葉梨さん、松村寿々さん、松本佳子さんの班は、衣装をポロシャツで揃え、体全体を使って口内のせんもうを表現しました。課外時間も集まって練習を重ねたというメンバーたちは、「視覚で楽しめるように、大きくわかりやすく演じました」と話し、「皆が楽しんで笑ってくれてよかったです」と息を弾ませていました。

発表審査には学生たちも参加し、優秀と認められた班（複数）は、8月6日（日）に開催される「こどものふしぎ探検 in 熊本保健科学大学」で小学生を前に実演する予定です。（入試・広報課）

工夫を凝らした背景や小道具を用意して、ステージで熱演、する学生たち



喫煙、飲酒…健康への影響やさしく説明

看護学科4年 北部中で薬物乱用防止教室

看護学科4年の保健師選択学生19人が5日（水）、熊本市立北部中学校で薬物乱用防止教室を実施しました。

学年ごとに「なぜたばこはダメなの？～たばこによる影響を知ろう～」（1年）、「どうしてお酒は危ないの？～20歳未満の飲酒の影響～」（2年）、「薬物を上手に断ろう!」（3年）とテーマを設定。思春期の生徒たちに対して薬物の健康への影響や誘われた時の対処方法を、説明や実演を通して分かりやすく伝えました。

同教室は、北部中学校の先生方の協力で2016年度から「学校・産業保健」科目の学外演習として実施しています。今年度は、対面での講話を各教室へZoom配信するハイブリット形式をとりました。

講師役の一人、坂下麻依さんは、「中学生が真剣に聞いている姿を見て、時間をかけて準備できて良かったと思いました。自分たちが気づいていなかった視点からの鋭い質問もあり、新たに学ぶことができました。また、実際に対面で実施す

ることによって、相手の立場になって考えることができたり、気づく点もたくさんあり学びになりました」と語っていました。健康教育のやりがいや達成感を感じることができたと話す学生も多く、学生、中学生の双方にとって充実した教室となりました。（看護学科講師・荒木善光）



学生からのクイズに答える北部中学校の生徒たち

就職戦線の早期化に対応

リハビリテーション学科4年次生を対象とした「就勝ガイダンス」を6日（木）、Webリアルタイム形式（一部Webオンデマンド形式）で行いました。早期化する就職戦線に合わせ、実施時期を昨年より約2カ月前倒しし、就職活動に必要な知識、心構えや姿勢などを伝えました。

終了後に実施した学生アンケートには、「就活するのは自分自身、支援課を効果的に活用する」「今、この瞬間から始める」など

リハ学科4年
就勝ガイダンス

実施時期 2カ月前倒し

の力強いコメントが寄せられました。翌日には、施設見学に向け積極的に始動する学生もいました。

就職・実習支援課は、学生たちが安心して就職活動に臨むことができるよう全力でサポートします。なお、学生の決意表明は、近日中に就職・実習支援課前に掲出しますので、どうぞご覧ください。

（就職・実習支援課）



看護学科

久松美佐子准教授



南の離島の魅力

私は、ここ5年ほど、年に1~2度鹿児島県の数カ所の離島を訪れているのですが、気候の温かさだけでなく、いつも胸いっぱい温かいものを抱えて帰りの飛行機に乗り込みます。

島の人には何でも受け入れてくれる温かさがあります。それは自然に抗えない小さな島で身につけた、物事を受け止め受け入れる力強さを含んでいると感じます。また、家族、友人、隣人、島外の人まで、周りの人を大事にして助け合い、いつもあちこちで感謝の気持ちが言葉として聞かれるところも魅力です。

居酒屋に行くと、全く知らない人も加わってすぐに酒を酌み交わすようになるので、ぜひ、皆さんも南の離島に行った際は居酒屋に！ただ、コロナ禍では多くが居酒屋でのクラスターだったので要注意でした。それでも接触者全員がすぐに分かるので、それ以上広がらないというも島ならではの。

皆さんも今度の休暇は癒しを求めて南の離島はいかがでしょう！素敵な出会いがあるかもしれません。

銀杏アラカルト

■**岱志高校1年生が来学** 岱志高校（荒尾市）の1年生7人と引率教員3人が7日（金）、本学を訪れ、模擬授業を体験しました。授業は、健康・スポーツ教育センターの松原誠仁副センター長が担当。本学アリーナで、身体の動きを運動学的、生理学的に捉える動作解析の機器を活用した授業を行いました。野球部に所属する生徒は、打撃データを測定できるバットをカー杯スイングし、その解析データを真剣に見入っていました。また、松原教授から問われた内容についても、生徒同士で協力して積極的に意見を出していました。このほか、生徒は昼食時にレストランを利用したり、学内施設を見学したりすることで、パンフレットやホームページだけでは伝わらない本学の魅力を体感していました。（入試・広報課）

レストランを見学する大津高の生徒たち



■**大津高生徒がキャンパス見学** 大津高校（大津町）の理数科2年生38人が12日（水）、本学を訪れ、大学概要や医療職に関する説明を聴講したり、学内を見学したりしました。あいにくの雨模様でしたが、生徒たちの元気な挨拶がキャンパス内を飛び交い、終始和やかな雰囲気にもまれていました。生徒たちは、本学学生が志す臨床検査技師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の仕事内容の説明を受け、学びを深めました。案内役の入試・広報課職員の問いかけに対しても、活発に意見を出してくれました。また、2つのグループに分かれ、レストランや図書館、実習室等の施設を見学し、大学生活のイメージを膨らませていました。（入試・広報課）

打撃データ測定用のバットを力いっぱい振る岱志高の生徒

